

平成27年度 新産業戦略協議会 (ものづくり) の検討事項 (案) について

新産業戦略協議会 事務局

【検討課題】

- ◆ 世の中の動向を踏まえた「新たなものづくりシステム」のブラッシュアップ
 - ドイツの「インダストリー4.0」や米国の「先進製造パートナーシップ」、加えて第5期科学技術基本計画答申の「超スマート社会」の実現等の最新動向を踏まえ、システムの視点において新たなものづくりシステムに加えるべき内容の検討

- ◆ 「新たなものづくりシステム」実現の為に必要な施策
 - アクションプラン対象施策の確認及び新たに取り組むべき課題の検討
 - 国として実施すべき取り組みの検討

- ◆第1回：下記2点の「事前検討項目」について、構成員の意見を伺い、論点を絞り込む
 - 世の中の動向を踏まえた「新たなものづくりシステム」のブラッシュアップ
 - 「新たなものづくりシステム」実現の為に必要な取り組みについて

- ◆第2回：新たなものづくりシステム実現のために必要な施策（①）
＜主な論点＞ものづくりのためのIT/IoTプラットフォーム構築について
＜予定する情報提供＞・経産省 ・IVI

- ◆第3回：新たなものづくりシステム実現のために必要な施策（②）
＜主な論点＞グローバル競争力強化について
＜予定する情報提供＞・グローバルプレーヤである企業2社程度から生産現場での最新動向と国への期待について発表

- ◆第4回：新たに取り組むべき事項についてのとりまとめ

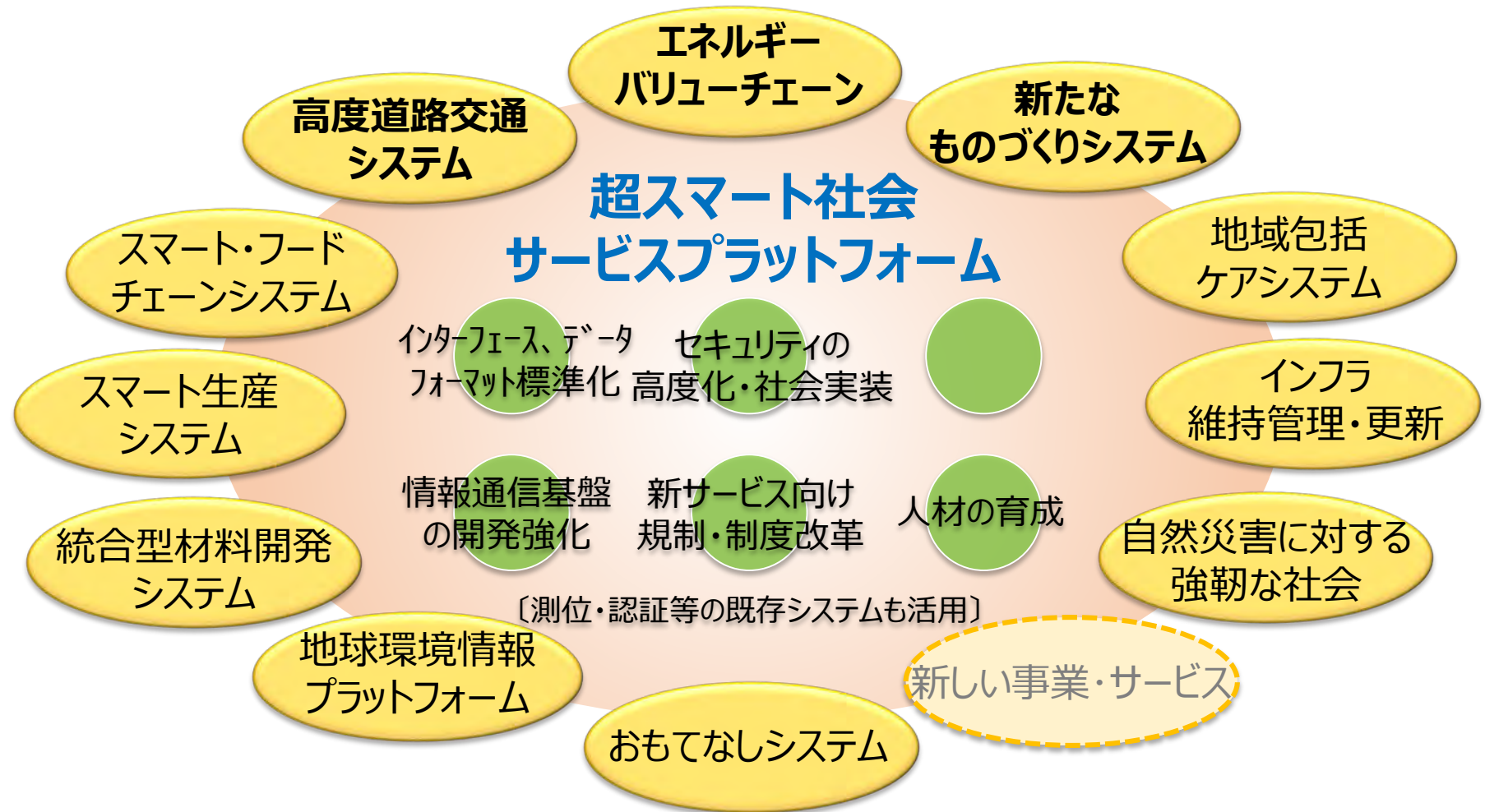
新産業戦略協議会（ものづくり）の進め方（案）

回数	予定時期	①総合戦略2015の課題及びH28AP対象施策の選定プロセスの検証	②H29年度予算で取り組むべき課題の検討	③H27, 28AP対象施策のフォローアップ及びブラッシュアップ
●協議会構成員から事前に意見等を徴収・取りまとめることで第1回の議論に反映				
第1回	1/22(金) 9:30～11:30	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世の中の動向確認 ◆ 総合戦略2015の課題及び検討項目の議論 	➡	◆ 課題及び検討項目の議論から論点の絞り込み
第2回	2/17(水) 9:30～11:30		◆ 「新たなものづくりシステム」実現の為に必要な施策について(プラットフォーム構築など)	◆ 検討項目関連の施策のフォローアップ、ブラッシュアップ(特に新規件、各省庁または事務局から報告など)
		◆ プレゼンテーション (論題:仮) 経産省・IVI		
第3回	3/7(月) 15:30～17:30		◆ 「新たなものづくりシステム」実現の為に必要な施策について(グローバル競争力強化など)	◆ 各省庁または事務局からの新規提案受け(あれば)
		◆ プレゼンテーション (論題:仮) 生産現場での最新動向と国への期待について		
第4回	3/23(水) 15:00～17:00	◆ 総合戦略2016に向けた議論／まとめ		

■ 新たなものづくりシステム

重点的取組	施策番号	施策名
(1) サプライチェーンシステムのプラットフォーム構築 (SIPを含む)	も・総01	多様なIoTサービスを創出する共通基盤技術の確立・実証
	も・経02	IoTを活用した製造業の新たなビジネスモデルの提案
	も・経05	CPSによるデータ駆動型社会の実現
	も・文01	AIP:人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト
	も・内科01	【SIP】「革新的設計生産技術」
	も・総02	脳情報による無意識での価値判断を活用した評価手法の研究開発
(2) 革新的な生産技術の開発 (SIPを含む)	も・内科01	【SIP】「革新的設計生産技術」
	も・経01	三次元積層造形技術開発・実証プロジェクト
	も・経04	高輝度・高効率次世代レーザー技術開発
	も・経03	ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト

(参考) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現 (Society5.0)



超スマート社会とは、
「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らすことのできる社会」であり、人々に豊かさをもたらすことが期待される